



梨央さんは母親の影響で昨年6月に習字教室に入会。教室での週1回2時間練習に加えて、宿題の字の練習帳などを活用しながら熱心に練習しています

南小学校1年の寺谷梨央さんが 日本習字展「観峰大賞」受賞を報告

日本習字教育財団主催の「第26回公募日本習字展（硬筆・ペンの部）」で、南小学校1年の寺谷梨央さんが「観峰大賞（全国の小学1年生のなかで1位）」を受賞し、3月2日、市長に受賞を報告しました。梨央さんは、「賞をとれてびっくりした。もっとうまくなれるように細かいところまでがんばりたい」と話していました。

安心・安全な登下校を願って

2月18日、宮崎県自動車整備振興会小林支部（上村一郎支部長）より交通安全のための啓発用品として、下敷きと定規が寄贈されました。寄贈いただいた用品は市内の新小学1年生367人に配布され、子どもたちの交通安全や防犯に役立てられます。



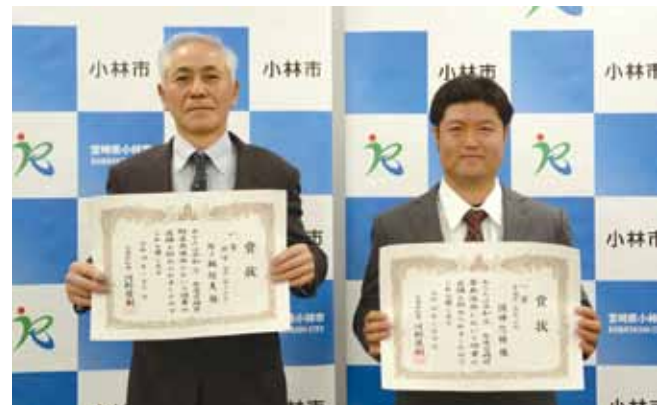
ライオンズクラブ寄付

2月24日、小林こすもすライオンズクラブ（松山盛文会長）より寄付があり、寄付金の贈呈式がありました。同クラブはさまざまなボランティア活動を通して地域に貢献しており、いただいた寄付は子育て支援事業のために活用されます。



農業で優れた成績を取めた3人が 知事賞・特別賞を受賞

2月21日、「県農産園芸特産物総合表彰式」が行われ、片ノ坂信夫さんが経営部門（だいこん）1等、倉山雄一さんが経営部門（マンゴー）2等、園田悠輔さんが普通蒸し煎茶の部1等を受賞。あわせて片ノ坂さんが九州農政局長賞、倉山さんが県果樹振興協議会長賞、園田さんが県経済農業協同組合連合会代表理事会長賞を受賞しました。



受賞した片ノ坂さんは「面積当たりの収量を増やすために工夫してきました。今回の受賞を励みに、さらにいい大根を作っていきたい」と話していました

研究成果の共有で教育をさらに充実

2月16日、市教育研究センター調査研究発表会・授業論文表彰式が行われました。式では、授業論文一席の日高貴善教諭（須木小）と二席の原屋敷貴子指導教諭（細野中）の研究発表や、永久津小・中で行われている小中一貫教育の実践内容の発表などが行われました。



（株）ダイナムと災害協定を締結

2月16日、市は（株）ダイナム（中原亮一郎小林店ストアマネージャー）と、災害時に施設敷地を避難スペースとして提供するための、施設利用の協力に関する協定を締結しました。同社として県内初の協定で、大規模災害時に一時的避難場所として提供されます。





児童の各提言に対して、市長、教育長、すきむらづくり協議会の関係者が助言と感想を述べました

若い世代が考え提言 須木の未来づくり提言発表会

3月15日、須木小学校6年（当時）の児童7人が、須木庁舎の議場で須木地区の未来について提言発表会を行いました。児童は総合学習の時間に農業の後継者問題、空き家対策など自ら調べ資料を作成し、市長や関係者に発表しました。下原優空さんは「提言したことが実現して須木が発展してほしい」と感想を述べました。

手作りコサージュで卒業生を祝う

2月21日、林業や環境について理解を深めるための授業（小林市林業研究グループが主催）が須木小・中学校で開催されました。中学校では2年生が卒業する3年生のために、かんなくずを材料としたコサージュを作成し、祝いの言葉と一緒に贈呈しました。



地域へ感謝の気持ちを込めて提供

サンキョーミート株式会社地域貢献活動として、市内の小中学校給食用に豚肉約200kgを無償提供し、各学校で提供されました。野尻小学校では2月18日、豚バラ肉を醤油で煮込んでご飯にかける台湾料理ルーローハンとして提供されました。



小林中生徒が大会での健闘誓う

3月11日と15日、小林中の女子ハンドボール部が全国大会へ、男子ハンドボール部と女子硬式テニスチームが九州大会へ出場することを市長に報告しました。女子ハンドボール部主将のおおみずさわさんは「保護者や関係者に感謝を忘れず、県代表として一生懸命プレーしたい」と決意表明しました。



女子ハンドボール部



男子ハンドボール部



女子硬式テニスチーム

コミュニティ活動の発展につながる

（一財）自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業「コミュニティ助成事業」を受け、内山区の内山地域福祉センターにバルーン投光器やテントなどの備品が整備されました。同事業は宝くじの受託事業収入を財源として社会のために役立てられています。



受賞した作品は令和3年度に策定された「第4期小林市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の表紙や挿絵として掲載されます

見る人が笑顔になる優しく夢のある 絵が多数応募

2月22日、「福祉のまちづくり」への理解を深めるきっかけになることを目的としたイラスト募集の表彰式が行われ、最優秀賞に三松小3年（当時）の永住朔大さん【写真㊤】の作品が選ばれました。また優秀賞を南小の後藤はるのさん【写真㊦】と同校の福岡百穂さん【写真㊧】が受賞し、宮原市長から賞状などが贈られました。

テニスコートの照明がリニューアル

昨年12月から改修を行ってきた小林総合運動公園市営テニスコートの照明LED化の工事が終了し、3月7日から一般利用を開始しました。LED化で従来より明るく、夜間でも快適・安全にテニスを楽しむことができるようになりましたので、活用ください。



市民の人権相談窓口として

3月7日、人権擁護委員として佐藤宗一さんが法務大臣より委嘱されました。人権擁護委員として再任の佐藤さんの任期は令和6年12月31日まで。毎月「人権・行政・なやみごと相談」を開催していますので、気軽に相談ください。相談日は19頁に記載。



地域医療を考える会が みやざき社会貢献活動賞を受賞

3月18日、社会貢献活動で特に顕著な功績があった個人・団体を表彰する「みやざき社会貢献活動表彰」を「地域医療を考える会（山下浩司会長）」が受賞し、県庁で表彰式が行われました。同会は平成22年設立。西諸の医療のあり方を市民の立場で考え、行政・医療機関と協働して、地域医療を守り育てることを目的に活動しています。



山下会長は、「これまで携わっていただいた皆さまに感謝するとともに、今後も西諸地域医療の後方支援に努めていきます」と話していました

卒業式で看護の道への決意新たに

3月1日、小林看護医療専門学校卒業式が挙行政され、5期生34人が卒業しました。卒業生代表の日高大地さんは「喜びと苦しさの入り混じった3年間でした。クラスメイトや先生方、学びを支えてくださった全ての皆さんに感謝します」とあいさつしました。



2年間の学びを糧に旅立つ

3月3日、小林看護医療専門学校の第62回卒業式が挙行政され、14人の生徒が卒業しました。卒業生を代表して川原衣織さんが「先生・保護者・同級生に感謝しながら、どんな困難でも、乗り越えていきたいと思っております」と感謝と決意を述べました。

